資 料 2

令和元年度　決算特別委員会

生活環境分科会　決算に係る資料

１．主な整備箇所等一覧　1 頁

２．令和２年度への繰越箇所一覧　7 頁

３．下水道事業の財政状況（図解）　13 頁

４．経営指標等の推移　15 頁

５．補助金の支出状況　20 頁

令和２年９月

道 路 下 水 道 局

１．主な整備箇所等一覧

（1） 道路整備　　（決算説明資料　5P関連）

区　　分	公　　共　　事　　業	
	決 算 額	主　な　箇　所　等
幹 線 道 路 整 備	3,314,085	《道路橋りょう整備》 香椎４８００号線（香椎） 福岡東環状線（土井２） 学園通線（田尻） 《都市計画道路整備》 国道３号線（東那珂） 国道３号線（半道橋） 長尾橋本線（茶山）
生 活 道 路 整 備	49,388	《道路橋りょう整備》 御供所井尻３号線（祇園大通り）
交通安全施設整備	2,639,868	《交通安全施設整備》 水城下臼井線（大井） 博多駅草ヶ江線（六本松） 福岡早良大野城線（脇山２） 直営灯ＬＥＤ化事業
連続立体交差事業	5,305,829	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
直 轄 工 事 費 負　担　金	－	
道 路 施 設 の ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト	661,059	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 生活道路アセット 幹線道路アセット
そ　の　他	－	
合　　計	11,970,229	

（単位：千円）

単独事業		合計
決算額	主な箇所等	
974,205	《道路橋りょう整備》 香椎４８００号線（香椎） 福岡東環状線（土井２） 学園通線（田尻） 《都市計画道路整備》 長尾橋本線（茶山） 国道３号線（半道橋） 和白新宮線（和白）	4,288,290
3,228,700	《道路橋りょう整備》 志賀島循環線（東海岸） 皿山屋形原線（皿山３） 潟元浜線（太郎丸・元岡・今津） 草場線（大字草場）	3,278,088
3,118,958	《交通安全施設整備》 博多姪浜線（大手門） 清水干隈線（福大通り） 国道２６３号（飯倉） 福重石丸線（福重３）	5,758,826
103,796	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	5,409,625
924,123	国道３号　外	924,123
1,402,138	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 生活道路アセット 幹線道路アセット	2,063,197
2,482,763	対象外給与費・福岡北九州高速道路公社出資金等	2,482,763
12,234,683		24,204,912

（2） 河川整備

（決算説明資料　6P関連）

区　　分	公　　共　　事　　業	
	決 算 額	主　な　箇　所　等
治 水 対 策 事 業	1,098,831	周船寺川　水崎川　金屑川 片江川　香椎川　浜男川
局 地 的 豪 雨 対 策	―	
環 境 整 備 事 業	33,190	名柄川
河 川 施 設 の アセットマネジメント	200,000	吉塚新川　上牟田川　綿打川
そ の 他	―	
合　計	1,332,021	

（単位：千円）

単独事業		合計
決算額	主な箇所等	
285,048	大谷川　一本松川 上妹池　コウザイ池	1,383,879
4,928	荒谷川	4,928
―		33,190
109,849	博多川　上牟田川	309,849
168,834	対象外給与費	168,834
568,659		1,900,680

（３）下水道整備　　（決算説明資料　７P関連）

区分	公共事業	
	決算額	主な箇所等
下水道施設のアセットマネジメント（改築更新）	8,951,096	博多駅前一丁目，舞鶴一丁目， 筥松第２ポンプ場，向島ポンプ場，菰川ポンプ場， 飛石町ポンプ場，姪の浜ポンプ場， 西戸崎，和白，東部，中部，西部水処理センター
浸水対策	5,194,977	唐の原第１雨水幹線，周船寺第１雨水幹線， 今泉二丁目， 三宅ポンプ場
地震対策	3,191,712	比恵１号幹線，中部１号幹線， 城西１号幹線， 和白，東部水処理センター
未整備区域の解消	228,988	みなと香椎三丁目
合流式下水道の改善（分流化）	735,129	住吉二丁目，美野島二丁目，警固二丁目
再生水利用	49,642	みなと香椎三丁目
合計	18,351,544	

※ 単独事業の決算額には、事業対象内人件費 123,000千円を含む。

（単位：千円）

単　独　事　業		合　計
決算額	主　な　箇　所　等	
5,160,062	西戸崎五丁目，名島二丁目，春町一丁目，那珂三丁目， 地行一丁目，薬院四丁目，高宮五丁目，井尻四丁目， 田島一丁目， 博多駅東ポンプ場， 和白，東部，中部，西部水処理センター	14,111,158
2,205,050	板付六丁目，田村三丁目， 大字田尻	7,400,027
434,872	比恵１号幹線，中部１号幹線， 城西１号幹線	3,626,584
1,376,075	大字奈多	1,605,063
107,766	住吉二丁目，美野島二丁目，警固二丁目	842,895
7,675	みなと香椎三丁目	57,317
9,291,500		27,643,044

2. 令和2年度への繰越箇所一覧

（1） 道路整備　　（決算説明資料　5P関連）

区　　分	公　　共　　事　　業	
	繰越額	主　な　箇　所　等
幹線道路整備	1,893,896	《道路橋りょう整備》 香椎４８００号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 《都市計画道路整備》 老司片江線（やよい坂） 国道３号線（東那珂） 長尾橋本線（茶山）
生活道路整備	42,613	《道路橋りょう整備》 御供所井尻３号線（祇園大通り）
交通安全施設整備	1,614,966	《交通安全施設整備》 水城下臼井線（大井） 桧原比恵線（平尾） 周船寺有田線（橋本２） 西新通線（西新３）
連続立体交差事業	2,661,539	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
道路施設のアセットマネジメント	149,339	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 幹線道路アセット 生活道路アセット
合　計	6,362,353	

（単位：千円）

単独事業		合計
繰越額	主な箇所等	
325,986	《道路橋りょう整備》 香椎４８００号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 《都市計画道路整備》 粕屋久山線（土井） 築港石城町線（石城町） 和白新宮線（和白）	2,219,882
1,098,213	《道路橋りょう整備》 猪野土井線（大字名子） 鳥飼５０号線（鳥飼５） 潟元浜線（太郎丸・元岡・今津）	1,140,826
1,449,839	《交通安全施設整備》 那珂麦野線（板付６） 後野福岡線（花畑） 清水干隈線（福大通り） 福重石丸線（福重３）	3,064,805
77,618	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	2,739,157
561,923	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 幹線道路アセット 生活道路アセット	711,262
3,513,579		9,875,932

（2）河川整備

（決算説明資料　6P関連）

区　　分	公　　共　　事　　業	
	繰越額	主　な　箇　所　等
治水対策事業	711,227	周船寺川　水崎川　金屑川 若久川　香椎川
局地的豪雨対策	―	
環境整備事業	3,745	名柄川
河川施設のアセットマネジメント	―	
合　計	714,972	

（単位：千円）

単独事業		合計
繰越額	主な箇所等	
121,899	周船寺川	833,126
15,072	荒谷川　長尾川	15,072
―		3,745
150,868	七隈川	150,868
287,839		1,002,811

（３）下水道整備　　（決算説明資料　７P関連）

区分	公共事業	
	繰越額	主な箇所等
下水道施設のアセットマネジメント（改築更新）	4,032,949	博多駅前四丁目，天神五丁目， 奈多第１ポンプ場，弁天町ポンプ場， 西戸崎，和白，東部，中部，西部水処理センター
浸水対策	1,773,464	唐の原第１雨水幹線，元岡第４雨水幹線， 和白東五丁目，今泉二丁目，橋本二丁目， 三宅ポンプ場
地震対策	1,381,846	席田雨水幹線，城西１号幹線
未整備区域の解消	454,033	みなと香椎三丁目
合流式下水道の改善（分流化）	309,657	住吉四丁目，天神二丁目
再生水利用	83,686	みなと香椎三丁目
合計	8,035,635	

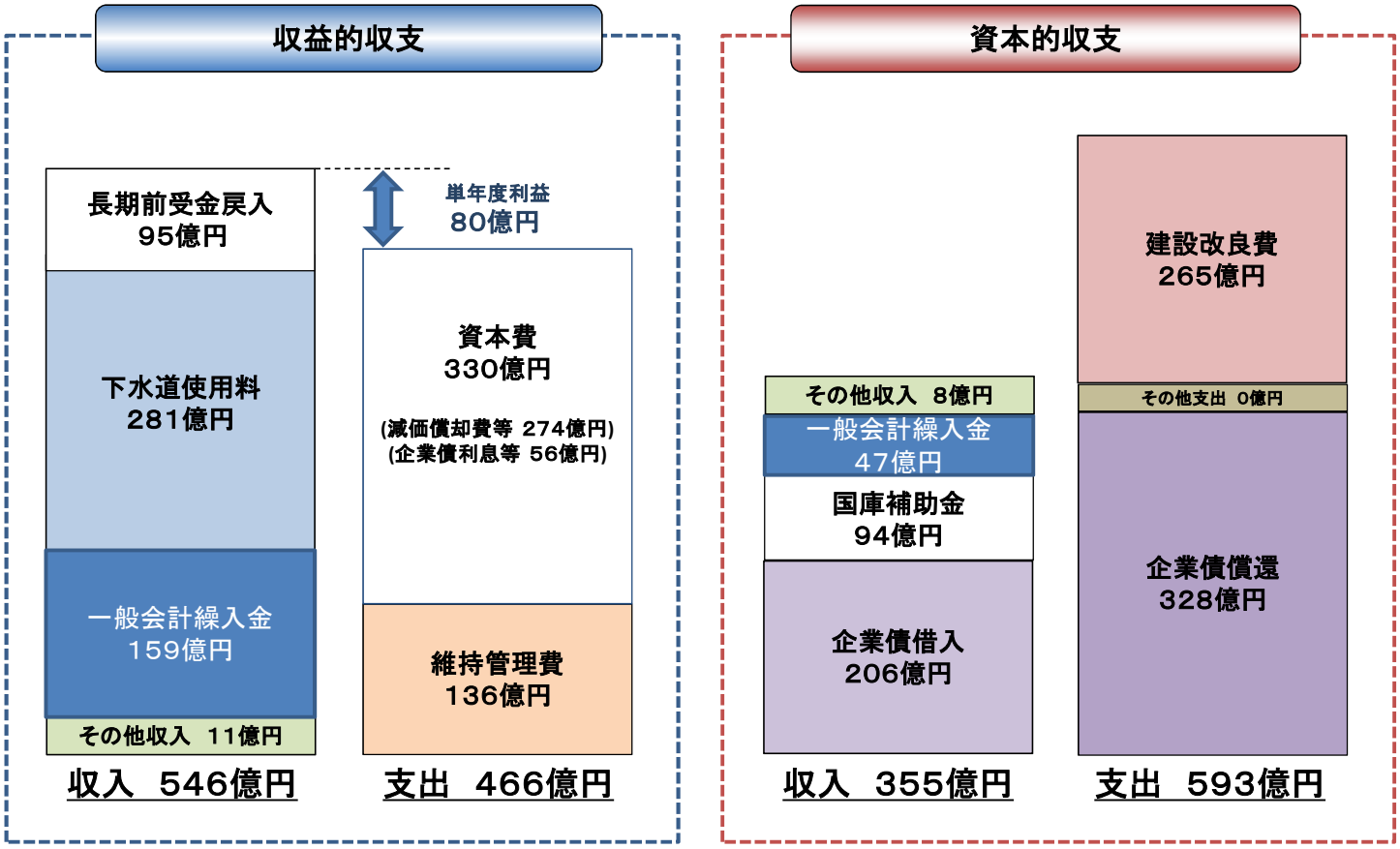
（単位：千円）

単独事業		合計
繰越額	主な箇所等	
1,527,320	奈多三丁目，多々良二丁目，吉塚八丁目， 赤坂三丁目，鳥飼三丁目，長住五丁目， 別府一丁目，昭代一丁目，月隈ポンプ場， 東部，中部水処理センター	5,560,269
598,173	諸岡五丁目，井尻三丁目， 横手二丁目，今宿東一丁目	2,371,637
58,438	席田雨水幹線，城西１号幹線	1,440,284
336,754	東浜二丁目，大字田尻	790,787
41,898	美野島二丁目，天神二丁目	351,555
9,782	みなと香椎三丁目	93,468
2,572,365		10,608,000

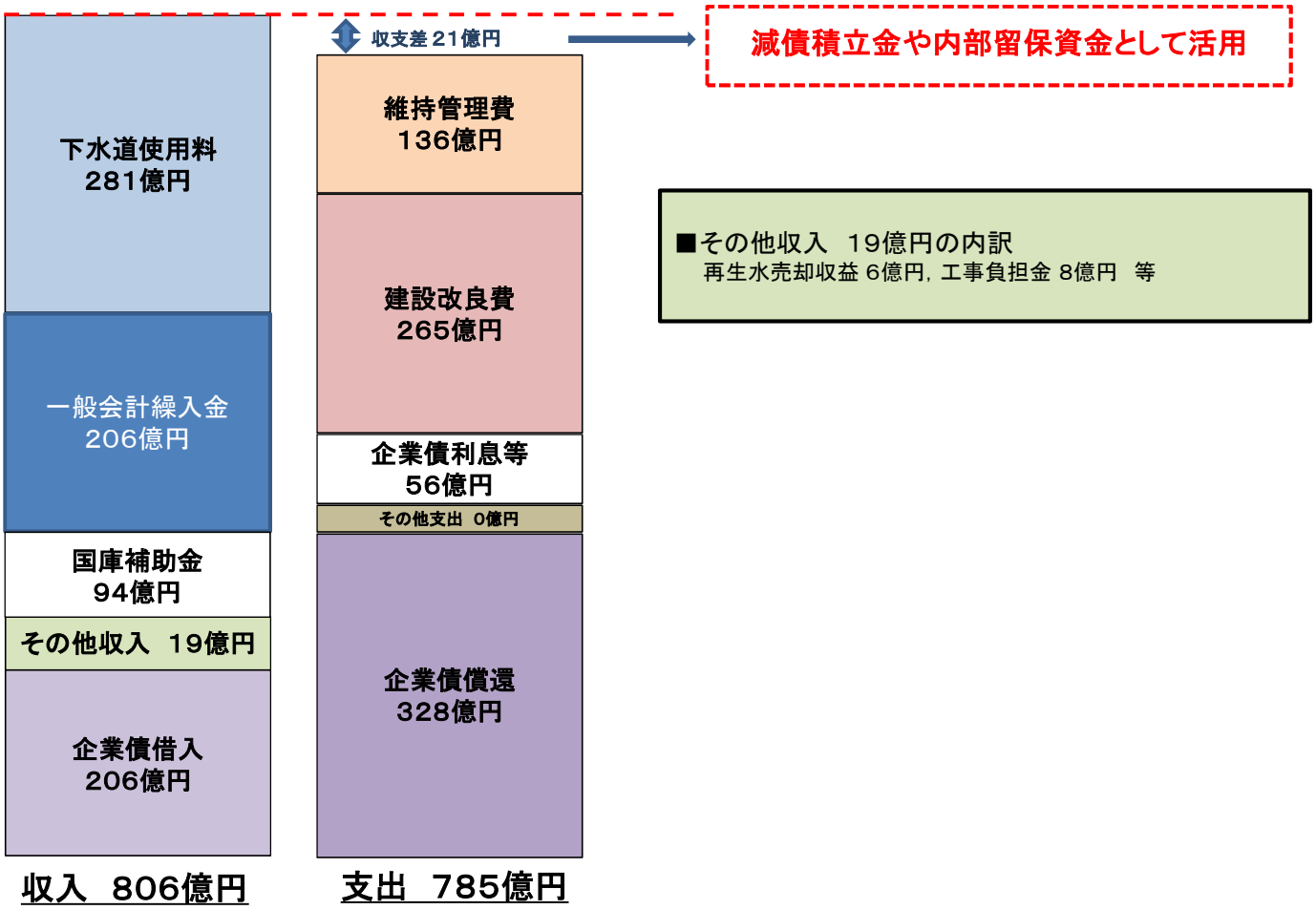
３．下水道事業の財政状況（図解）

（金額は消費税抜）

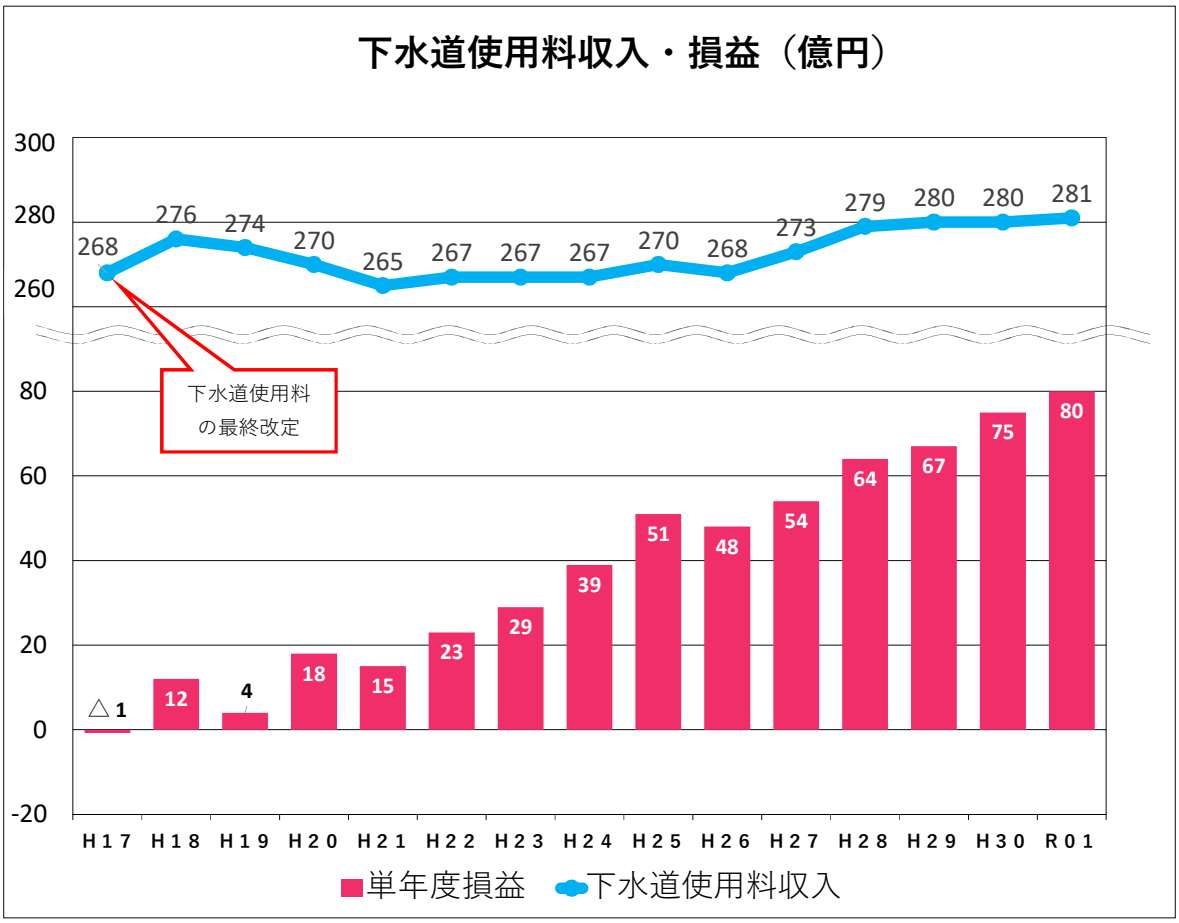
【決算ベースの収支】



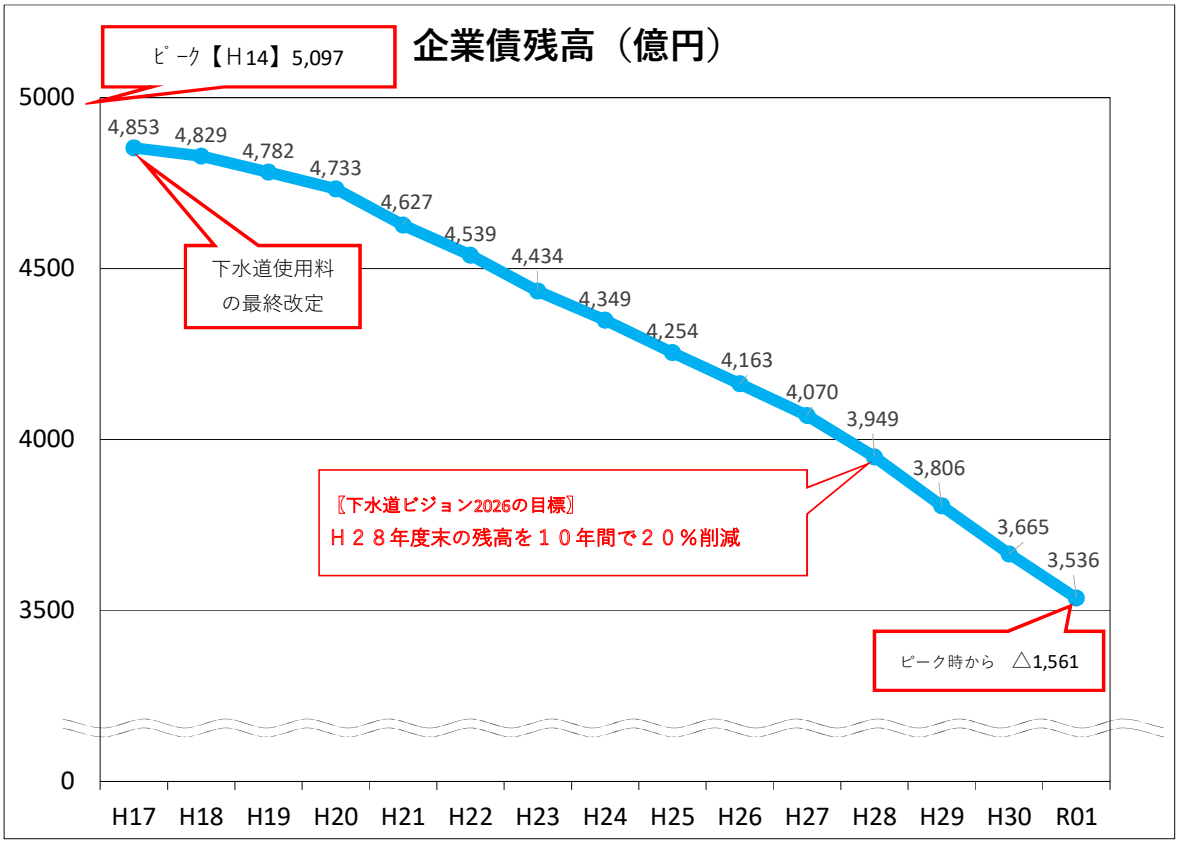
【資金収支（一般会計と同様の現金会計ベース）】＝収益的収支＋資本的収支－非現金収支（長期前受金戻入，減価償却費等）等



【下水道使用料収入及び損益の推移】



【企業債残高の推移】



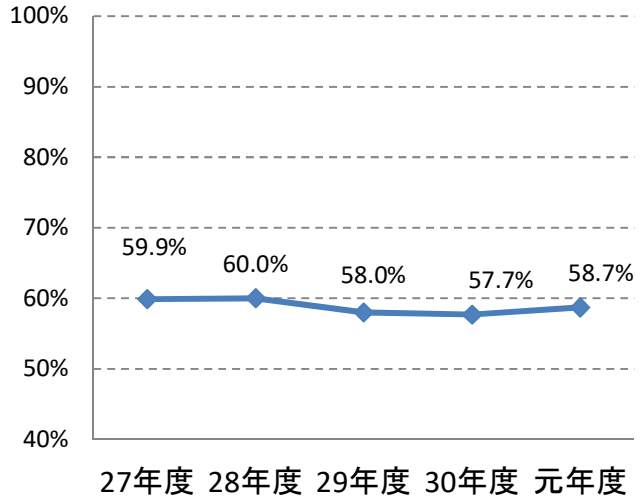
4. 経営指標等の推移

(1)施設指標

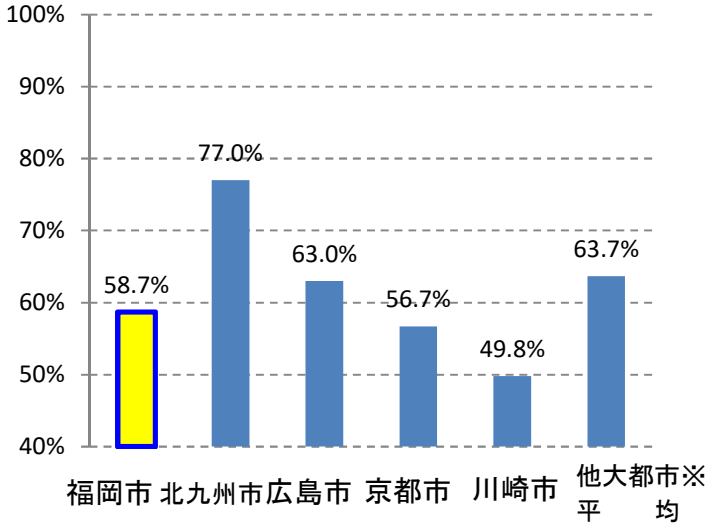
施設利用率　下水処理場における平均的な稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

施設利用率の推移



令和元年度大都市の施設利用率



※他大都市とは，福岡市を除く政令指定都市19都市及び東京都

評　価

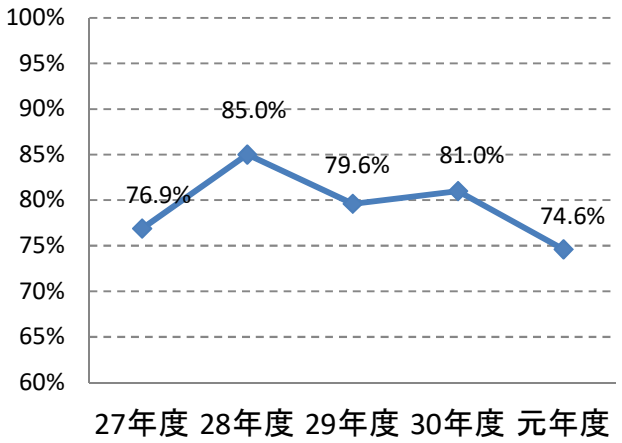
当指標は，下水道の普及が概成しているためほぼ横ばいで推移しています。

他大都市平均と比較するとやや低く，施設に余裕がありますが，類似大都市とほぼ同水準にあります。

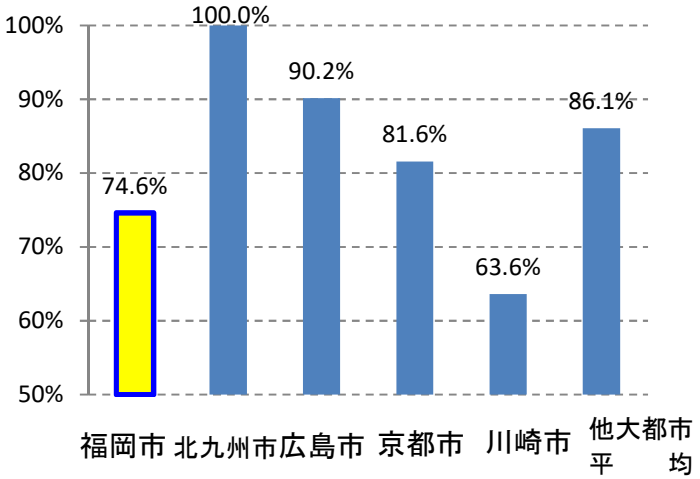
最大稼働率　下水処理場において最も処理水量が多かった日の稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日最大処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

最大稼働率の推移



令和元年度大都市の最大稼働率



評　価

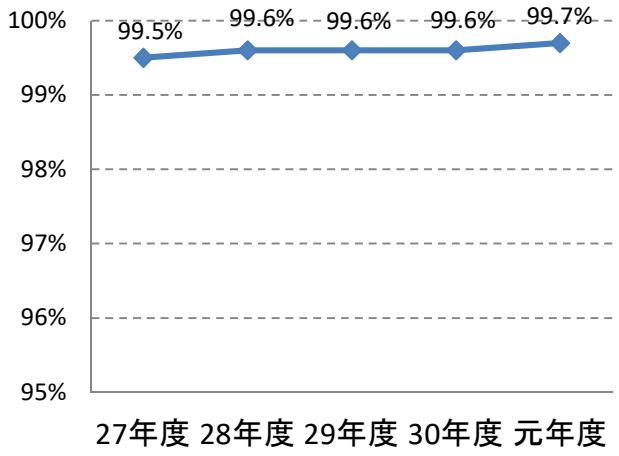
当指標は，施設の処理能力に対する最大の稼働状況を示しており，元年度は，やや減少しています。

他大都市平均と比較するとやや低く，処理能力には，やや余裕があります。

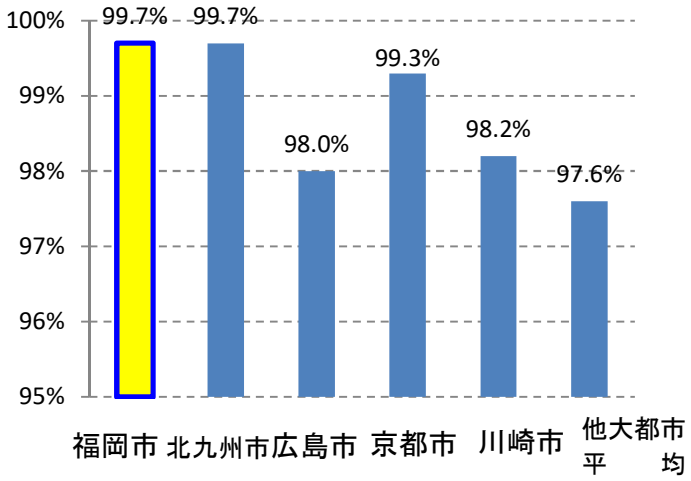
水洗化率　下水処理区域内において水洗トイレを利用している人口の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{水洗便所設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$$

水洗化率の推移



令和元年度大都市の水洗化率



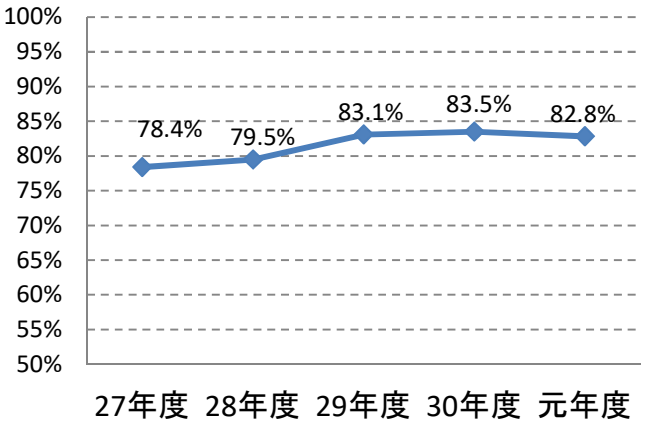
評　価

当指標は，99%を超えており，ほぼ全ての人が水洗トイレを利用しています。

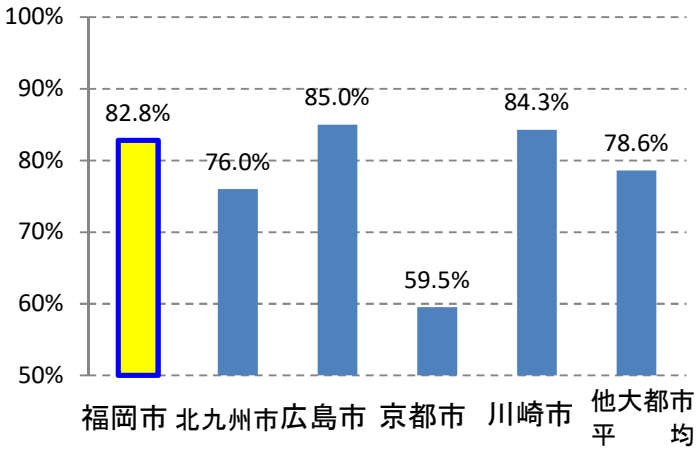
有　収　率　処理場で処理した水量のうち使用料徴収の対象となる水量の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総汚水処理水量}} \times 100$$

有収率の推移



令和元年度大都市の有収率



評　価

当指標は，高いほど使用料徴収の対象となっていない不明水が少なく，効率的な汚水処理が行われていることを示しています。

近年は，8割程度で推移し，他大都市平均と比較すると上回っており，良好な水準です。

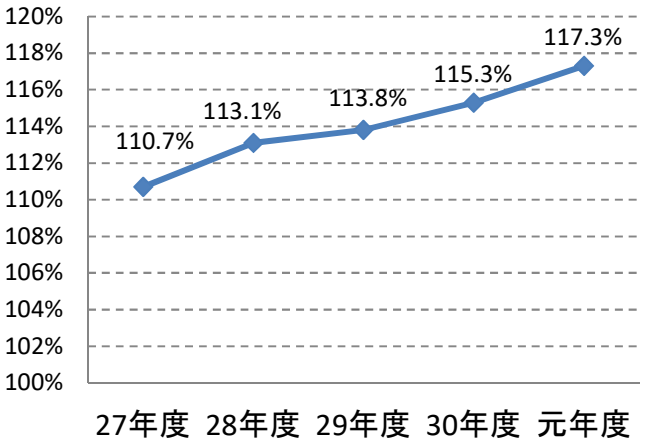
（2）財務指標

経常収支比率

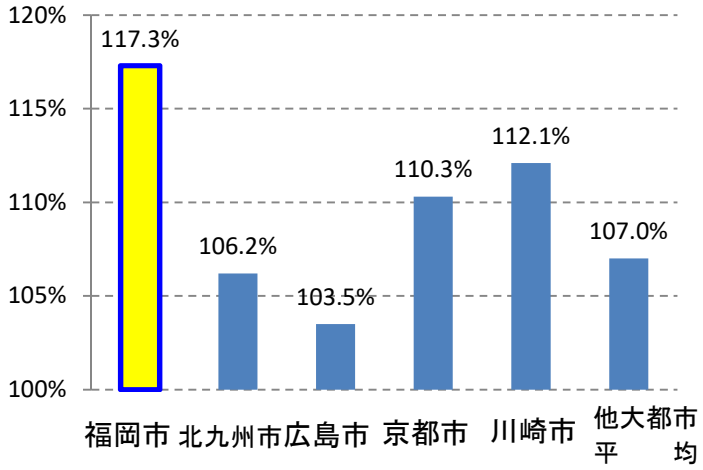
下水道事業における収支のバランスを比較し経営の安定性を示す指標です。

$$\frac{\text{経常収益（営業収益+営業外収益）}}{\text{経常費用（営業費用+営業外費用）}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和元年度大都市の経常収支比率



評　価

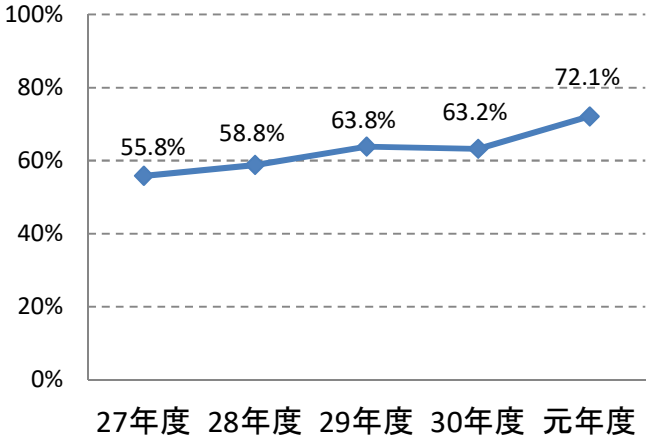
当指標は，単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要です。
本市においては，100%以上で推移しており，経営は安定しています。

流動比率

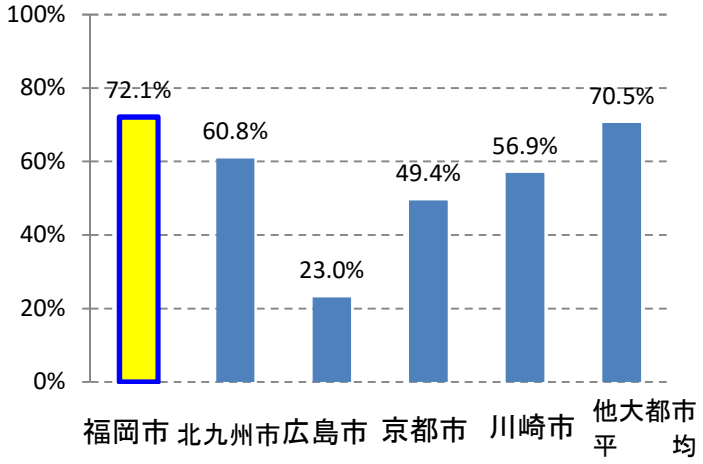
1年以内に現金化できる資産と負債とを比較し，短期的な支払い能力の高さを示す指標です。

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

流動比率の推移



令和元年度大都市の流動比率



評　価

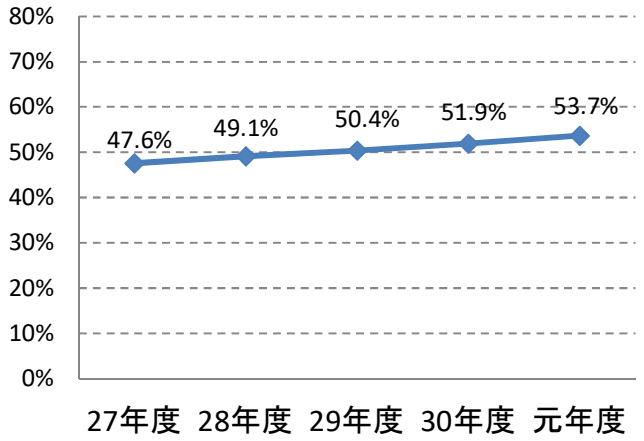
当指標は，民間企業では，100%超が適正とされていますが，公営企業では地方公共団体の信用力を背景として，当該年度に発生する損益勘定留保資金等を当該年度の企業債の償還財源として使用するため，流動負債として計上される次年度の企業債の償還財源を決算時に保有しない傾向にあります。
本市においても，次年度の企業債の償還財源を決算時に保有していないことから低率となっています。

自己資本構成比率

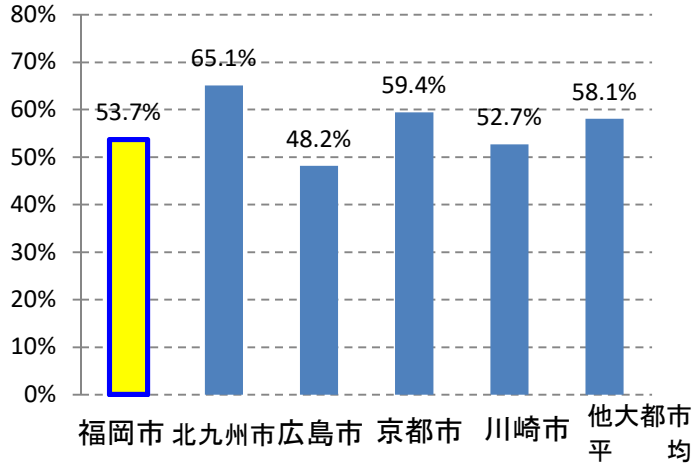
総資本に対する自己資本の占める割合を比較し、企業の安定度を示す指標です。

$$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$$

自己資本構成比率の推移



令和元年度大都市の自己資本構成比率



評　価

当指標は，高いほど総資本を借入金に頼らず自己資本により構築している割合を示しており，高いほど借金に頼らずに経営が行われていることを表しています。近年は，利益剰余金を財源として企業債の発行を抑制していることなどから，負債が減少し当指標は増加傾向にあります。

他大都市平均と比較すると下回っており，今後も自己資本構成比率を高めていく必要があります。

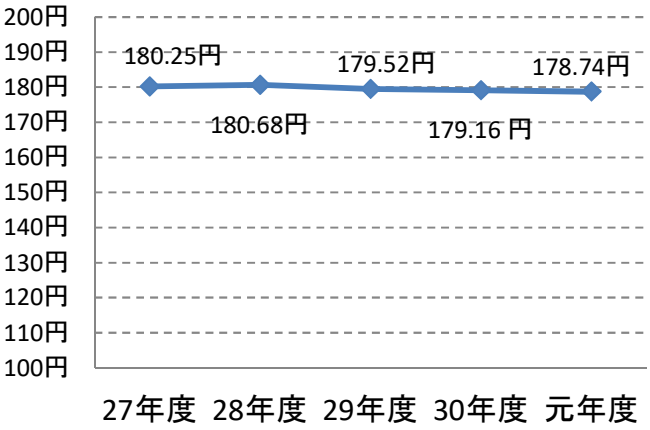
（3）料金比率

使用料単価

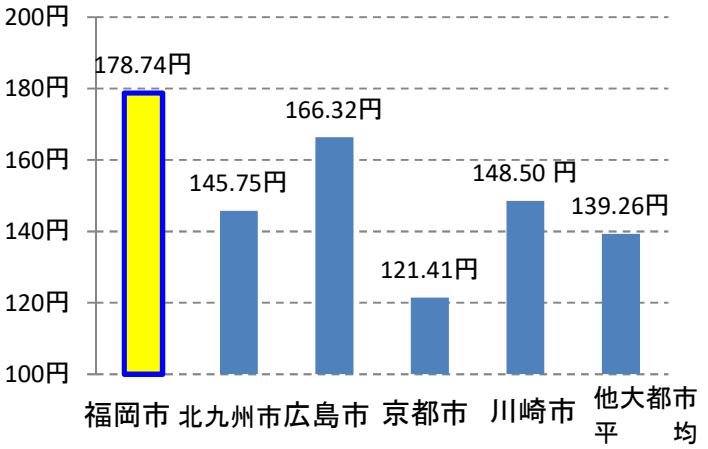
有収水量1立方メートル当たりの使用料収入で，下水道使用料単価の高低を示す指標です。

$$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{年間総有収水量}}$$

使用料単価の推移



令和元年度大都市の使用料単価



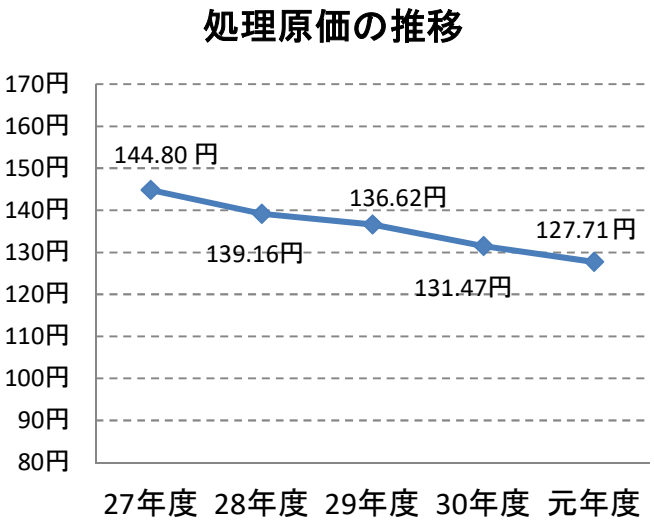
評　価

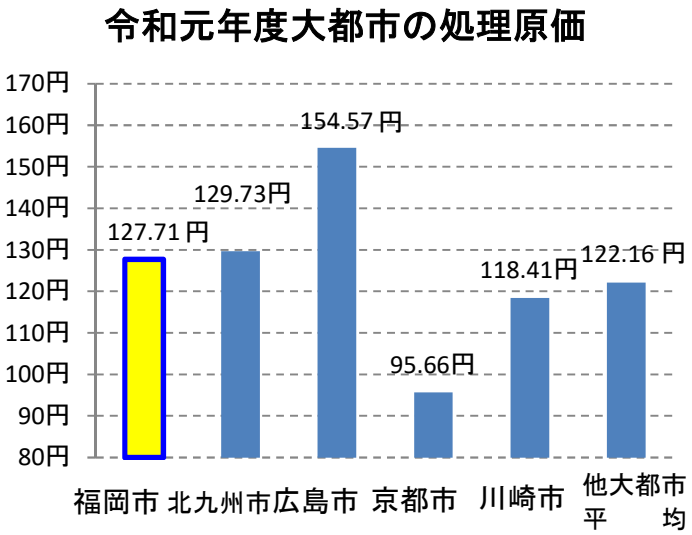
福岡市の下水道整備は，建設費が高騰したオイルショック後の昭和50年代から本格化したため，建設費を賄う企業債が増加し，支払利息や減価償却費などの経費が割高となったことにより，当指標は他大都市平均と比較すると高水準となっています。

処理原価

有収水量1立方メートル当たり，汚水処理に要する経費がどれだけかかっているかを示す指標です。

$$\frac{\text{総費用} - \text{関連収入}}{\text{年間総有収水量}}$$





評　価

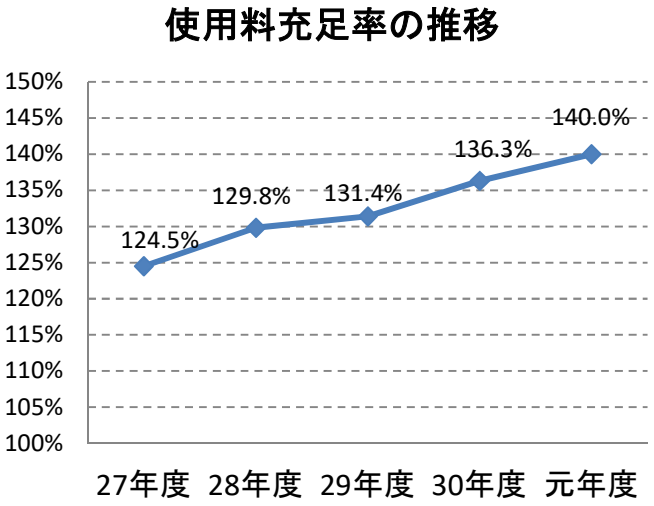
福岡市の下水道整備は，建設費が高騰したオイルショック後の昭和50年代から本格化したため，建設費を賄う企業債が増加し，支払利息や減価償却費などの負担が大きく，当指標は他大都市平均と比較すると高い水準にあります。

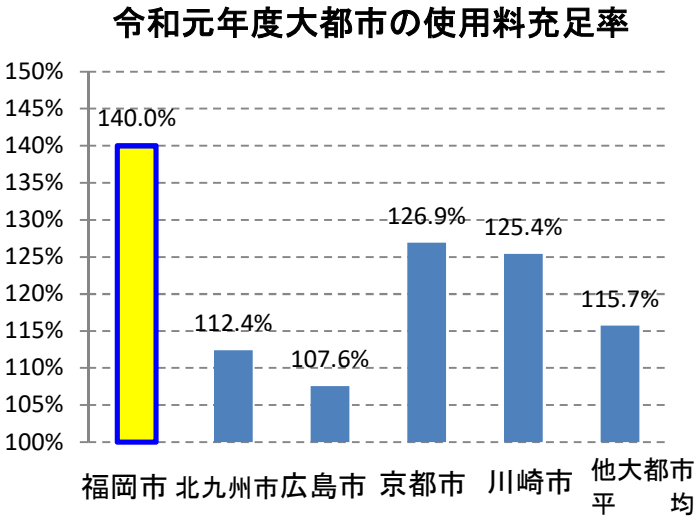
企業債の縮減や低金利，コスト削減などにより低下傾向にありますが，今後とも処理原価の低減に努める必要があります。

使用料充足率

汚水処理に要した費用に対する下水道使用料による充足率を示す指標です。

$$\frac{\text{使用料単価}}{\text{処理原価}} \times 100$$





評　価

当指標は，汚水処理に要する費用を使用料によって賄うことができているかを示す100%以上となっていることが必要です。

本市においては，使用料単価がほぼ同水準で推移している状況で，処理原価の低減に努めたことにより，上昇傾向にあり，大都市の中で浜松市144．1%，横浜市142．0%に次ぐ率となっています。

5. 補助金の支出状況

（単位：千円）

款別	補助金の名称	交付先	最終予算額	支出済額	不用額
土木費	道路照明灯補助金（防犯灯）	町内・自治会等	95,104	92,499	2,605
	私道整備費補助金	私道の舗装等を行う者	3,000	930	2,070
	狭あい道路路線整備補助金	－	2,000	－	2,000
	新歩行空間整備補助金	－	2,000	－	2,000
都市計画費	合併浄化槽設置補助金	助成対象地域で合併処理浄化槽を設置する者	1,824	332	1,492
下水道事業費用	低地排水設備工事費助成金	自然流下では汚水の排除が困難な低地に，ポンプ排水設備の工事を行う者	750	559	191
	私道排水設備工事費助成金	－	235	－	235
	水洗便所改造補助金	－	516	－	516
	排水設備分流化改造工事費助成金	排水設備を分流式に改造する者	33,012	12,981	20,031
	雨水流出抑制施設助成金	助成対象地域で雨水流出抑制施設の設置を希望する土地・建物の所有者又は使用者	1,000	543	457